



## 未来を夢見て Season3

2023/1/27 No. 174

### 最強寒波到来～給食週間始まる～

1月25日（水）。天気予報通りの「最強寒波」が到来しました。いつもより30分早く自宅を出て学校に着くと、もう今野さんが除雪を進めてくれていました。その後三々五々学校に到着した職員が除雪に加わり、子どもたちの通学路や校地内の除雪を無事終えることができました。

「雪かき」というと、志小田校長先生（現：東松島市教育長）が石巻中学校時代にお書きになっていた校長室から「校旗燦たり」で内田樹氏の著書を引用しながら次のように書かれていたことを思い出します。

（前略）雪かきとは誰かに認めてもらうためではなく、その道を歩く人がいつものように普通に歩いて事前にやっておく作業ということになります。通常は誰も見ていないし、賞賛を期待するものでもないが、その地道な作業を誰かがやらねばならない。そういう人がいることで実は全体がうまく回っている（後略）。



小野小の職員の皆さんの素晴らしさはその同僚性の強さにあります。休みの先生がいれば進んで補欠に行き、どこかで手が足りないときはみんなでカバーする、そんなことが当たり前のようにできる職員集団なので、子どもたちも伸び伸びと安心して学校生活を送っているのではないのでしょうか。



さて、大雪から1日過ぎた26日は朝から快晴になりました。業間、昼休みの校庭は雪遊びを楽しんでいた子どもたちの歓声で溢れました。また、1年生やもみじさんでは元気にたこあげをする姿も見られました。

24日（火）からは給食週間が始まりました。写真は左から宮城・岩手・福島の郷土料理。給食センターの皆様の温かい心配りが感じられ、毎日美味しくいただくことができます。

業間、6年生の係のお子さんが卒業文集の原稿依頼をもって校長室に来てくれました。いつの間にか1月も終盤になり、カレンダーを見ると来週はもう2月、そして立春。心配された感染症の流行も今のところはないようです。どうかこのまま子どもたちにとって平穏な日々が続きますように・・・。

（文責：手代木）